

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

子どもが地域を結ぶ「子育ての駅（仮称）」整備プロジェクト

2 地域再生計画の作成主体の名称

魚沼市

3 地域再生計画の区域

魚沼市の全域

4 地域再生計画の目標

本市は、ブランド米「魚沼産コシヒカリ」の中心的産地で、全国的な認知度が非常に高い地域である。平成28年度からコシヒカリを返礼品とした「ふるさと納税」を開始したところ、県内1、2位を争うまでに寄附額が伸びている。

しかしながら、認知度の高さとは反対に、魚沼市の平成27年国勢調査確定値における人口は、国立社会保障・人口問題研究所が予測した値を下回る結果であり、予想を超えた人口減少が加速する恐れがある。

これは、自然減によるほか、人口流出が進行しているためで、特に子育て世代は転出超過が顕著であり、この世代への対策が急務である。

そのために魚沼市は、今後実施を予定する経済的支援政策のほか、子どもを主役に据え、多様な世代が子育てに参加する仕組みを市民と共に創りあげることにより、子育て世代の流入人口の増加を図るとともに、協力者等が地域人材として活躍する地域を目指す。

なお、地域全体が子育てに参加するよう誘導することで、中高校生の結婚観を醸成し、高齢者の健康寿命を延ばし、親の育児スキルの向上を図るなど、相乗的な効果を狙う。

また、隣接する県立都市公園及び市立文化会館と連携し、親子連れをターゲットとした利用の促進を図る。

	事業開始前 (現時点)	平成28年度 (1年目)	平成29年度 (2年目)	平成30年度 (3年目)
0～14才の子ども及び25～49才までの子育て世代の年間転入数	432人	0人	0人	10人
「子育ての駅」の年間延べ利用者数	—	—	0人	10,000人
子育て支援参加団体数	5団体	0団体	2団体	3団体

	平成31年度 (4年目)	平成32年度 (5年目)	KPI増加分の 累計
0～14才の子ども 及び25～49才ま での子育て世代 の年間転入数	12人	16人	38人
「子育ての駅(仮 称)」の年間延べ 利用者数	5,000人	5,000人	20,000人
子育て支援参加 団体数	3団体	2団体	10団体

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

県営都市公園に隣接する遊休中の観光インフォメーション施設を、「地域全体が子育てに参加する」ことを理念とした拠点施設「子育ての駅(仮称)」として再生し、親と地域が共に子育てに参加する仕組みを順次構築した中で運用を図るもの。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

地方創生拠点整備交付金(内閣府):【A3007】

① 事業主体 魚沼市

② 事業の名称: 子どもが地域を結ぶ「子育ての駅(仮称)」整備プロジェクト

③ 事業の内容

本事業は、遊休中の観光インフォメーション施設を、「子育ての駅(仮称)」として再生し、子育て中の親子、地域の中高年、中高生などが集い、子どもを主役に据え「地域全体が子育てに参加」し、その関わりによる地域人材の育成と、健康寿命の延伸等の相乗効果を得ながら、子育て環境の充実を図り、子どもと子育て世代の流出の歯止めと流入の増加を目指す。

④ 事業が先導的であると認められる理由

【自立性】

施設整備の検討の初期段階から、趣旨に賛同するボランティア団体等に関わってもらいながら、維持管理・運営の方策を検討する。設立当初

は、市が直営で維持管理・運営を行うが、平成32年度中を目標に、ボランティア団体を核にした民間団体による指定管理等への移行を目指す。

【官民協働】

市が施設を整備し、市民やボランティア団体が協力者として施設運営及び活動に参加する。

この活動は、利用する親子の受益にとどまらず、その協力者によっては、子どもとの関わりによる中高校生の結婚観の醸成や、高齢者の健康寿命の獲得など、金銭に換え難い受益がある。

【政策間連携】

子育て環境の充実方策を広く発信し、U I J ターン施策と一体に進めることにより人口流出の歯止めをかける。協力者が子育てに関わることによって、高齢者の健康寿命が延びることによる医療・介護など社会保障費の抑制に寄与する。

【地域間連携】

近隣1市1町と締結している定住自立圏協定に基づき、この子育て支援施設の域外利用の促進を図り、定住自立圏全体の子育て環境の充実及び流入人口の増加を図る。また、隣接する新潟県が運営する都市公園の利用増進を補強する機能を有する。

⑤ 重要業績評価指標（KPI）及び目標年月

	事業開始前 (現時点)	平成28年度 (1年目)	平成29年度 (2年目)	平成30年度 (3年目)
0～14才の子ども及び25～49才までの子育て世代の年間転入数	432人	0人	0人	10人
「子育ての駅」の年間延べ利用者数	—	—	0人	10,000人
子育て支援参加団体数	5団体	0団体	2団体	3団体

	平成31年度 (4年目)	平成32年度 (5年目)	KPI増加分の 累計
0～14才の子ども 及び25～49才ま での子育て世代 の年間転入数	12人	16人	38人
「子育ての駅(仮 称)」の年間延べ 利用者数	5,000人	5,000人	20,000人
子育て支援参加 団体数	3団体	2団体	10団体

⑥ 評価の方法、時期及び体制

毎年度、3月末時点のKPIの達成状況を魚沼市地方創生推進部署が取りまとめて、推進委員会を構成する有識者や議会の関与を得ながら検証結果報告をまとめる。また、必要に応じて地方版総合戦略や今後の事業経営方針に反映させる。検証結果はホームページで公表する。

⑦ 交付対象事業に要する経費

①第5条第4項第1号イに関する事業【A3007】

総事業費 55,100千円

⑧ 事業実施期間

地域再生計画認定の日から平成33年3月31日(5ヵ年度)

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

該当なし

6 計画期間

地域再生計画認定の日から平成33年3月31日

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況にかかる評価の手法

定量目標の達成状況を確認するために、毎年度各指標の集計を行い、魚沼市総合戦略推進会議において結果について評価を行う。評価結果を踏まえ、目標の効果的な実現に向けて必要な計画の見直しや変更を行う。

目標1 0～14才の子ども及び25～49才までの子育て世代の年間転入数については、魚沼市地方創生推進部署が毎年度3月末時点で住民基本台帳の異動状況により人口動態の詳細を分析して把握する。

目標2 「子育ての駅（仮称）」年間延べ利用者数については、魚沼市地方創生推進部署が毎年度3月末時点で、施設管理者が報告する値により把握する。

目標3 子育て支援参加団体数については、魚沼市地方創生推進部署が毎年度3月末時点で、施設管理者が報告する値により把握する。

7-2 目標の達成状況にかかる評価の時期及び評価を行う内容

	事業開始前 (現時点)	平成28年度 (1年目)	平成29年度 (2年目)	平成30年度 (3年目)
0～14才の子ども 及び25～49才ま での子育て世代 の年間転入数	432人	0人	0人	10人
「子育ての駅」の 年間延べ利用者 数	—	—	0人	10,000人
子育て支援参加 団体数	5団体	0団体	2団体	3団体

	平成31年度 (4年目)	平成32年度 (5年目)	KPI増加分の 累計
0～14才の子ども 及び25～49才ま での子育て世代 の年間転入数	12人	16人	38人
「子育ての駅（仮 称）」の年間延べ 利用者数	5,000人	5,000人	20,000人
子育て支援参加 団体数	3団体	2団体	10団体

7-3 目標の達成状況にかかる評価の公表の手法

毎年度、魚沼市地方創生推進部署が3月末時点で市報及びホームページにより公表を行う。